

【資料２】ARRCによる商品別のフォールバック条項の推奨文言について

- 米 ARRC は、4/25 日にシ・ローンおよび変動利付債について、また、5/31 日に相対ローンおよび証券化商品について、市中協議結果を踏まえた最終的なフォールバック条項の推奨文言を公表。概要は以下の通り。

- ARRC では、フォールバック条項の文言について、各商品での整合性確保が重要と認識する一方、商品ごとの性質の違いを踏まえ、それぞれに合わせた文言を提案することとしている。
- また、ARRC は、市場参加者が、ISDA デリバティブとの平仄等の観点から当該推奨文言の利用を選択しないことを排除していない。

１．貸出

	シ・ローン	相対ローン
トリガー	✓ ①公表停止トリガー、②公表停止前トリガー、③早期選択トリガーの３種類のトリガーを導入	✓ ①公表停止トリガー、②公表停止前トリガー、③早期選択トリガーの３種類のトリガーを導入
フォールバック・レート	<p><u>＜ハードワイヤードアプローチ＞</u></p> <p>✓ 以下のウォーターフォール構造を導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第１階層：ターム物 RFR 金利 ・第２階層：0/N RFR 複利 ・第３階層：借手とエージェントが選択した金利 <p><u>＜修正アプローチ＞</u></p> <p>✓ エージェントと借手が、市場慣行や公的機関による選定・推奨を踏まえて合意する金利</p>	<p><u>＜ハードワイヤードアプローチ＞</u></p> <p>✓ 以下のウォーターフォール構造を導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第１階層：ターム物 RFR 金利 ・第２階層：0/N RFR 複利 ・第３階層：貸手が選択した金利 <p><u>＜修正アプローチ＞</u></p> <p>✓ 貸手が、市場慣行や公的機関による選定・推奨を踏まえて選択する金利</p>

	シ・ローン	相対ローン
スプレッド調整	<p><ハードワイヤードアプローチ></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 以下のウォーターフォール構造を導入 <ul style="list-style-type: none"> ・第1階層：ARRCが推奨するスプレッド ・第2階層：ISDAデリバティブの調整スプレッド ・第3階層：借手とエージェントが選択したスプレッド <p><修正アプローチ></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ アレンジャーと借手が、市場慣行や公的機関による選定・推奨を踏まえて合意する調整スプレッドやその計算方法 	<p><ハードワイヤードアプローチ></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 以下のウォーターフォール構造を導入 <ul style="list-style-type: none"> ・第1階層：ARRCが推奨するスプレッド ・第2階層：ISDAデリバティブの調整スプレッド ・第3階層：貸手が選択したスプレッド <p><修正アプローチ></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 貸手が、市場慣行や公的機関による選定・推奨を踏まえて選択する調整スプレッドやその計算方法

2. 債券

	変動利付債	証券化商品
トリガー	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①公表停止トリガー、②公表停止前トリガーの2種類のトリガーを導入 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①公表停止トリガー、②公表停止前トリガーの2種類のトリガーを導入（②は、原資産の元本残高の50%超が代替の金利指標に置き換わった場合も含む）
フォールバック・レート	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 以下のウォーターフォール構造を導入 <ul style="list-style-type: none"> ・第1階層：ターム物RFR金利 ・第2階層：0/N RFR複利（後決めを想定） ※第3階層以下は略。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 以下のウォーターフォール構造を導入 <ul style="list-style-type: none"> ・第1階層：ターム物RFR金利 ・第2階層：0/N RFR複利 ※第3階層以下は略。
スプレッド調整	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 以下のウォーターフォール構造を導入 <ul style="list-style-type: none"> ・第1階層：ARRCが推奨するスプレッド ・第2階層：ISDAデリバティブの調整スプレッド ・第3階層：発行体等が指定したスプレッド 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 以下のウォーターフォール構造を導入 <ul style="list-style-type: none"> ・第1階層：ARRCが推奨するスプレッド ・第2階層：ISDAデリバティブの調整スプレッド ・第3階層：取引書類上指定された者が指定する調整スプレッド

以 上